

川西地区健康増進・歴史空間づくり事業

取り組みに至る背景・事業の目的

千曲市の千曲川西岸に位置する八幡、桑原、稲荷山の3地区で構成される川西地区は、塩尻市から長野市の善光寺を結ぶ「善光寺西街道」の沿線にあり、かつては、多くの物資や参詣者などが往来した地域であり、松尾芭蕉や正岡子規らも訪れたとも伝えられる。

しかしながら、近年はモータリゼーションの進展により、歩いて往来する人は少なくなり、豊かな歴史により育まれた地域の史跡等は埋もれ、往時の状況を偲ぶことが困難な状況となっている。

そこで、住民自らの手で、豊かな歴史に彩られた地域の資源を再評価し、「善光寺西街道」を再生させる取組を通じて、郷土愛の醸成や健康増進、地域の活性化を図っている。

事業内容

桑原地区の佐野川沿いの史跡や名勝を散策する「佐野薬師周辺ハイキング」や善光寺西街道沿線の麻績村村づくり会議と連携したウォーキングイベント「峠の復活・猿ヶ馬場峠を歩く」を開催したほか、郷土の歴史を学ぶための講演会を2回実施した。

また、川西地区の史跡や名勝を巡るウォーキングコースを10コース設定し、それらを紹介する「善光寺道ウォーキングマップ」を作成して駅、公共施設、コンビニ等に配布した。

更に、街道沿いに史跡案内板等を40箇所整備したほか、住民ボランティアによるチップ材整地作業、倒木撤去、草刈や四阿・ベンチの設置等を行い、既存遊歩道の再整備を行った。



【住民ボランティアによる遊歩道整備】

事業効果

これらの取り組みにより、地域住民が、自分たちの地域の歴史や資源に目を向け、自身の誇りに結び付ける契機となったほか、新聞等メディアにもこれらの取組が紹介され、新たに川西地区にオープンした「佐野川温泉竹林の湯」の話題性とも相俟って、千曲市川西地区全体への関心も高まってきている。

また、平成20年5月には、JR東日本からの依頼により、JR東日本主催のイベント「駅からハイキング」に協力し、7月には川西地区を紹介するモバイルホームページ「信州 さらしな」を開設するなど、事業効果に広がりが見られる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

取り組みを地区内外に広くPRするため、自己負担も伴う大きな事業を計画実施したことから、各戸、企業から寄付金集めには苦労したが、反面寄付する人の厳しい目を感じ、事業展開に一層力が入った。最近では、当会の趣旨に賛同をいただき、少しずつではあるが協力者が増えつつある。

今後の取り組みにあたっては、資金確保が課題で、夢を実現しようとすればするほど資金難となるが、既に開設した「信州さらしな」の内容充実による地域情報の全国発信や、地域の歴史・文化・民話等のガイドブックの作成などを通じて「おもてなしの心」の醸成につなげていきたい。

【選定のポイント】

街道沿線の他地域の団体や企業との連携が図られ、取組や効果に広がりが見られた。

団体名	千曲市川西地区振興連絡協議会 (千曲市)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	電話 026-274-1092	事業費	4,676,477円
	http://www.just.st/?in=307453	支援金額	3,143,000円